

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：前庭神経鞘腫患者における非有効聴力のリスク評価

1. 研究の対象

2017年2月から2023年1月までに当院耳鼻咽喉科を受診した前庭神経鞘腫（聴神経腫瘍）の患者様

2. 研究期間

研究実施許可日 ～ 2025年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024年8月1日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

前庭神経鞘腫は腫瘍の増大または手術により一定の割合で聴力低下が起こります。本研究では、患者様の初回検査時の聴力検査結果とMRI等の所見を用いて、どのような患者様に聴力低下が起きる傾向があるのかについて調査します。この調査により、前庭神経鞘腫を持つ患者様の将来的な病状予測や説明提供に寄与できる可能性があります。

5. 研究方法

過去の電子カルテデータの情報と聴力検査の情報を利用します。聴力検査を行った時点における、以下「6. 研究に用いる情報の種類」に記載の情報について、統計解析を行います。取得された情報は解析前に匿名化されます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：前庭神経鞘腫の診断で当科に受診されたときの年齢・性別

MRI 検査結果、聴性脳幹反応 (ABR) 検査結果、聴力検査結果等

試料：なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は筑波大学耳鼻咽喉科の研究費（運営交付金）です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 耳鼻咽喉科 松本 信
住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：電話・FAX：029-853-3147
対応可能時間：平日 9～17 時

当院の研究責任者： 筑波大学附属病院 耳鼻咽喉科 松本 信